

第3回蒲郡市総合教育会議 会議録

開催日時	平成30年2月13日(火) 13時30分から14時45分まで
開催場所	蒲郡市役所5階 庁議室
出席者	<p>蒲郡市長 稲葉 正吉</p> <p>蒲郡市教育委員会</p> <p>委員長 高田 稔</p> <p>委員長職務代理者 小田 裕慈</p> <p>委員 石渡 篤史</p> <p>委員 篠田 恵</p> <p>教育長 廣中 達憲</p> <p>【オブザーバー】</p> <p>企画部 部長 大原 義文</p> <p>総務部 部長 壁谷 勇司</p> <p>教育委員会事務長兼庶務課長 尾崎 弘章</p> <p>【説明者】</p> <p>教育委員会学校教育課長 岡田 敏宏</p> <p>【事務局】</p> <p>企画部次長兼企画政策課長 飯島 伸幸</p> <p>企画部企画政策課 係長 小山 道徳</p> <p>企画部企画政策課 主事 青木 佑紀</p>
情報交換	<p>1 蒲郡市学校教育ビジョン改訂案について</p> <p>2 蒲郡市公共施設マネジメント地区個別計画について</p> <p>3 新体育館の建設場所決定についての蒲郡市長の見解について</p>
会議資料	<p>【資料】</p> <p>1 蒲郡市学校教育ビジョン改訂案についての資料 蒲郡市学校教育ビジョン改定案</p> <p>2 蒲郡市公共施設マネジメント地区個別計画についての資料 蒲郡市公共施設マネジメント実施計画概要版及び各地区かわら版</p> <p>3 新体育館の建設場所決定についての蒲郡市長の見解について 新体育館の建設場所の決定について市長見解</p>
情報交換内容(要旨)	<p>1 蒲郡市学校教育ビジョンについて</p> <p>【説明者：学校教育課長】 蒲郡市学校教育ビジョンの改訂案について説明した。</p> <p>【教育委員会の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と学校が連携することがテーマ。学校の教育活動に支障をださずに公共施設のマネジメントを進めていくためには、問題を洗い出しておくこと、現場の先生への十分な説明をすることが必要。</li> <li>・全体の目標として「地域との連携」を掲げているが、個別項目の中に地域連携に繋がる内容が少ない。</li> <li>・内容には学校教育だけでは難しい内容もある。家庭との連携についても入れられると良かった。</li> <li>・教育委員会のビジョンとして学校に配布されるが、また学校がそれぞれ</li> </ul>

れの教育目標を作る。地域・家庭との連携も盛り込めるとよい。

## 2 蒲郡市公共施設マネジメント地区個別計画について

### 【説明者：総務部長】

蒲郡市公共施設マネジメント実施計画について、地区個別計画の進捗状況について説明した。

### 【教育委員会の意見】

- ・外国籍の児童や市民が多い塩津地区には、外国籍の市民が利用しやすい施設が作られる可能性もあると思うが、地区外の方も利用できるように配慮してほしい。
- ・公民館を地区外の方も利用できるようにするべき。
- ・実際に進めていく際には学校、保育園への説明を早く行ってほしい。家庭への周知もあるため、突然では対応できない。修正が入る可能性があったとしても早く計画を作り説明をする必要がある。
- ・ワークショップの案どおりに地区個別計画が策定されない場合もある。地区へのこれからの進め方は大事。
- ・後々、新たな意見によって計画がうまく進まない可能性もある。計画の策定前には、ワークショップでまとめた意見に対し、かわら版に加えて委員以外の意見も広く募るべき。
- ・施設の複合化によって子どもたちへの安全面に懸念がある。十分検証すべき。
- ・地区の意見の前に、市や教育委員会の方針を示すという方法もある。
- ・今後、公共施設マネジメントの状況についてを教育委員会へ説明する場としては総合教育会議が適していると考えている。

### 【市部局の意見】

- ・外国籍の児童や市民への対応については、増加に伴い全市的に対応すべき課題である。
- ・公民館が地区内の利用のみになっていることは疑問を感じている。公民館の貸館業務について研究を進めている。
- ・地区個別計画は最終的に市で策定をしていく。ワークショップでの地区の意見は重要に受け止め、できるだけ沿った形で進めていく。
- ・個別計画が策定された後は、危険度や効率性、タイミングをみながら早急に計画の実施に移っていく。

## 3 新体育館の建設場所決定についての蒲郡市長の見解について

### 【説明者：稲葉市長】

新体育館の建設場所の決定について、市長の見解を説明した。

### 【教育委員会の意見】

- ・なし